

国語科学習指導略案(第1学年B組 男子8名, 女子11名)

令和元年7月12日(金) 3限  
授業者: 田中 知子、井邊正城

- 1 単元名: わかりやすく伝える
- 2 単元: 文法の窓「文の成分・連文節」
- 3 本時のねらい: 『文節どうしの関係について理解を深める』(教科の観点)
- 4 準備物: 単語カード
- 5 本時の学習過程(第2時/全5時間)

生徒の学習活動及び発問・予想される生徒の反応	・留意点 ○評価【観点】(方法) ※手立て
<p>1、主語の問題に取り組む。 「が」に置き換えることを忘れていないか。</p>	<p>成分を見分けるポイントに注意しながらできたか確認する。</p>
<p>めあて: 前時の学習を利用する。</p>	
<p>・主語になることができる文節を選ぶ。</p> <p>2、修飾語の問題に取り組む。</p> <p>・修飾語の役割を知る。 ・問題に取り組む、見分けのポイントを発見する。</p> <p>3、修飾語には2種類あることを学習する。 ・どう違いがあるだろう。考えてみよう。</p>	<p>・簡単な文で確認するようにする。</p>
<p>山場: 自分で、違いを整理し見分けポイントに書き込む。</p>	
<p>・問題に取り組む。</p>	<p>&lt;めあての評価&gt; 前時の学習を利用したか。</p>
<p>&lt;振り返り・まとめ&gt;</p> <p>・間違えたところを見直し、まとめたポイントを振り返る。</p>	<p>&lt;ねらいの評価&gt; 見分けのためのポイントを自分なりに考えたか。</p>